



No.008

# Smiling 2025

一般社団法人

**Kids & Smile** 広報紙

カンボジア・アフリカ・東ティモールの子どもたちと共に

## 支援先からの報告

### カンボジアとアフリカ（コンゴ民主共和国）

#### カンボジア シェムリアップより Totet 神父からのレポート

##### 支援者の皆様

カンボジアの子どもたちの教育や食事を提供するという、この地域での基本的なニーズに応えることができるのは、皆様の揺るぎないご支援が続いているからです。心より感謝いたします。



ミサの後の食事風景

##### 現在の状況

カンボジア経済は全体的にみると平常に戻っていますが、貧困層の生活は改善されているわけではありません。特に、外国人観光客に大きく依存しているシェムリアップ市は、訪れる外国人観光客数も最近では予想を下回り、ホテルの稼働率も低くなっています。

また、米など食料品の物価は安定しているものの、貧困層の購買力は非常に弱く、多くの家庭では子どもを祖父母に預けて隣国タイへ出稼ぎに行くという状況は続いています。

##### 幼稚園・補習クラス（小学校1～5年）の運営

私たちは、シェムリアップ教区内の4つの村にある幼稚園と補習クラスの子どもたちの教育に力を入れ、給食として



バットンバン知牧区  
キケ司教（右）と  
トテット神父

ライススープを提供、必要な小学生には奨学金も支給しています。この4地域合わせて、現在は、児童244人（男児91人、女児153人）が在籍しています。

先生の数8人、残念なことに、給料は昨年と同額とするしかなく、月120ドル、補習を受けもつ先生は90ドル / 月の特別手当、また、全員に年間150ドルのボーナスとユニフォーム代として50ドルが支給されているのが現状です。

私たちが子どもたちを預かることで、母親は漁業、農業、養豚の仕事に従事でき家族にとって有益な時間を持つことができます。

皆様のご支援を活用させて頂いている4地域の概略をお伝えします。

##### 1 ピアスナイン村地域

シェムリアップ市の北約35km、隣接のジーザスファームと、それぞれに幼稚園31人と女性や母親のためのセンターがあり、村の住民たちとも良い関係を築いています。



## 2 プレククトアル水上村

トンレサップ湖陸地付近に浮かぶ村 幼稚園 34 人、補習クラス 11 人と貧しい人々のケアをしています。

## 3 タオム村

100 年の歴史を持つフランス植民地時代の教会があり、1998 年以降、地元当局からカトリック教会に譲渡され、幼稚園園児 53 人、補習クラス 56 人の他に、仏教僧や地域コミュニティと協力して社会事業等を行うセンターにもなっています。

## 4 コンボン・クレア村

シェムリアップ市南東約 80 キロ、元はベトナム系カトリックの人たちの子どもが通っていました。幼稚園児 33 人、補習クラス 26 人があり、今はカンボジアの子どもが通っています。

そのほかに、市内のシェムリアップ教会ではウェルカムセンターとして、都市部の貧困層の子どもたち 80 人のケアをしています。週 2 回、センターで食事を提供し、必要な時は、日用品、教材、制服を提供、また、家族にお米を定期的に配給しています。

毎回、同じ報告内容になりますが、これからも大切にしていきたいのは、この基本的な姿勢、つまり幼稚園児の教育、教材を買えない補習クラス（小学生）の支援、園児への毎日の食事提供、補習クラスの子どもたち、その母親や祖母に週 1 回の食事提供をしていくことです。

今年の年間予算としては、食事提供（ライススーププログラム）約 14,000 ドル、幼稚園運営費（先生の給料含め）約 21,000 ドル、その他（制服、通学用自転車など）約 3,000 ドルを見込んでいます。

これからも、お力添えよろしくお願いいたします。

日曜日の朝、ライススープ（米粥）を分かち合って食べる祖母と孫たち



コンボン・クレア村で学ぶ子どもたち 椅子は時には机の代わりにもなるお気に入りの実用的な方法



それぞれのおもちゃを取りに来る子どもたちを見守るマップ先生



スレイ ナット (4 歳)



祖父と兄姉と共に洗礼の秘跡を受けるスレイ ナット (2025 年 4 月)

## カンボジアとタイとの軍事衝突

2025 年 7 月 25 日発生

遠い日本の皆さんから、私たちが気にかけてをいただきありがとうございます。

カンボジアとタイとの国境沿いの軍事衝突のニュースは、おそらく状況を実際より深刻に伝えられているのかもしれませんが。タイへ出稼ぎに行っている人たちは無事に過ごしています。でも、カンボジアの多くの人が国境付近の村から避難していることも事実です。

現在、私たちは国境のスリン県から避難してきた 59 人の学生や教師を司牧センターで受け入れています。

シエムリアップ市の多くの人々が食料、水、米を寄付してくれて、親切の波が押し寄せています。いつも、いつも、平和を祈りましょう

シェムリアップ教会 Fr.Totet S.J.



# いま、コンゴ民主共和国（旧ザイール） で起きていること！！

コンゴ民主共和国は複雑な紛争が絶えることのない国ですが、日本に居る私たちがコンゴ民主共和国に関するニュースを聞くのは、本当に稀です。

しかし、大きなニュースが 2025 年 1 月 27 日以降数度に渡って各国の通信社報道機関から発信されました。

## 北キブ州の州都ゴマで多くの死傷者が出る

『コンゴ民主共和国の東部国境地帯で、隣国ルワンダ政府（カガメ大統領）が関与していると言われている反政府武装組織「3 月 23 日運動（M23）」が急速に勢力を拡大し、北キブ州の州都ゴマ周辺を攻撃しコンゴ民主共和国の政府軍（FADRC）との激しい戦闘がおこった。

1 月下旬にこの戦闘で州都ゴマでは、数日間で 700 人以上の死者、2,800 人以上の負傷者が出たと言われている。』  
という内容でした。

その後、M23 は 2 月 17 日に東部南キブ州の州都ブカブに侵攻し、州知事の事務所を占拠しました。コンゴ民主共和国政府軍は、戦わずして撤退し、北キブ州都ゴマに続いてブカブの陥落を認め、住民に対して「占領軍に標的にされないように自宅にとどまる」よう呼びかけました。

## 制圧されたブカブ、住民は軍の略奪と反乱軍のテロに挟まれる

この州都ブカブは、聖マリア修道女会の活動の中核である場所の一つであり、Kids&Smile の会員の皆さまが支援してくださっている恵まれない子どもたち、女性、青年たちが一杯いる地域です。

私たちは、このニュースを聞いてすぐに聖マリア修道女会のアフリカ現管区長（コンゴ人）と前管区長（コンゴ人）にメールを送り、即返信をいただきました。

「今皆さんがネットを通して知られている事は、今日の私たちの現実です。M23 がゴマに侵入した時から、この反乱で多くの死者が出ており、昨日までに 3,000 体以上の遺体が収容されたという話もありました。ネットワークの接続が非常に不安定です。私たちのことを心配している方々に心からのご挨拶と感謝を伝えてください」（前管区長から 2/4 着信）

「私たちを支えてくださるお気持ちとお祈りに心から感謝いたします。私たちの修道院はブカブに残っています。



キブ州全体が紛争状態にあり、私たちはゴマと同様に、水道も電気もないまま家に閉じ込められています。現在ブカブは、多くの住民、子どもたち、若い女性たちは無事で一見平穏に見えます。ブカブで最悪の事態が起こらないよう祈っています」（現管区長から 2/5 着信）  
その後、ブカブからのメールは返信がなくなりました。

## M23 のブカブの街への侵攻

この時まさに M23 のブカブへの侵攻が始まり、あっという間にブカブは M23 の支配下になってしまったようです。ようやく 2 月 27 日に送信したメールに管区長 Sr.Julienne から返事が届きました。2 月 27 日木曜日、南キブ州ブカブの独立広場で M23 の集会中に発生した爆発により、数名が死亡（詳細は明らかにされていない）。ブカブ市は、ルワンダの支援を受ける M23 反政府勢力によって 10 日間占領されています。

次ページへ



この集会は、Corneille Nangaa 氏と Bertrand Bisimwa 氏を含む、コンゴ・フルーヴ同盟（AFC）の役員らによって開催されたと、他の情報筋は伝えています。集会を傍聴するために集まっていた住民は、爆発後、解散しました。地元筋によると、2月21日（金）以降、ブカブ市のほとんどの地域で治安が悪化していると。

管区長は、この時、北キブ州のブテンボ（ゴマから北約300kmの所に在り、ブカブよりは少し治安は保たれている。この場所も聖マリア修道女会の活動拠点の一つとなっている）に滞在されていましたが、その後、私共のメールへの返信は途絶えてしまいました。

5月に入って管区長から次のように返信が来ました。「ちょうど四旬節からご復活祭のお祝いの間、反乱軍が国全体を征服しかねないほどに脅迫的な態度をとり、市民への虐待などを非常に心配していました。

M23は「私たちの家」（聖マリア修道女会の修道院）には侵入していませんが、市民は大きな被害を受けています」M23は、ブカブの政府機関をはじめ、銀行など重要拠点を制圧しました。しかし、この紛争に対し欧米諸国のルワンダ政府（M23）への圧力は強くなっていました。そのような中6月28日コンゴ民主共和国とルワンダはアメリカ政府の仲介で和平合意に署名しました。しかし、M23のみならず多くの反政府勢力は納得せず、依然として不安定さは残されたままです。

現在日本に滞在しているブカブ出身の方が、この度の紛争で「私の家族は、幸いにも皆無事で元気ですが、私の兄弟は職を失い、その子どもたちは、通っていた学校の授業料も支払えない状態です」と話してくださいました。この紛争のリアルな一端を覗いたような気がしました。

その後「ブテンボとゴマを結ぶ道路が開通したおかげで、今は平和です」と管区長から7月24日連絡がありました。

フランシスコ前教皇は「希望は欺かない」（二〇二五年の通常聖年公布の大勅書）の冒頭で次のように述べておられます。

「すべての人は希望を抱きます。明日は何が起こるか分からないとはいえ、希望はよいものへの願望と期待として、一人ひとりの心に宿っています」

## 継続支援のお願い・・・・・・・・

Kids&Smile は、発足以来コンゴ民主共和国の東部地方（北キブ、南キブ州）の子ども、女性、青年たちの教育、食料、健康などを主として皆様のお力で支援の橋渡しをして参りました。

コンゴ民主共和国における希望の光へのトンネルはまだまだ暗く長いように思えますが、現地で活動するシスターの方々が子どもたちの食料や教育環境の向上を目指すことができるように、更に皆様のご協力を頂きながらあらゆる手段を見つけて、弱い立場の人々に寄り添い、その努めを果たしていきたいと思ひます。

どうぞ今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



「束の間の幸せの時期の子どもたち（2013年撮影）。子どもたちにこのような笑顔が見られるのはいつになるでしょう」

## コンゴ民主共和国の実情

コンゴ民主共和国の人口は約1億人（2022年）。コンゴ東部では金や銅、タンタル、スズ、ダイヤモンドなど豊富な鉱物資源をめぐって武装勢力が乱立しています。

これらの豊かな資源は、欧米諸国が資源を奪い取るために、そして、複数の国や武装グループが関わり、1998年以降のコンゴ紛争では540万人もの人々が命を失いました。

反政府武装勢力「3月23日運動（M23）」を含む複数の武装勢力とコンゴ軍との戦闘が激化し、人々は暴力に巻き込まれ、2023年末までに東部の北キブ州、南キブ州では避難を余儀なくされ現在に至っています。

住民たちは、政府軍、武装勢力の両方から食料の略奪や村々の襲撃を頻繁に受けています。

5歳児未満の死亡率も栄養失調、また医療へのアクセスが困難なため、1,000人中98名と依然高いままです。

またコンゴ紛争中に、少なくとも3万人以上の子どもたちが兵士として徴兵され、戦いに駆り出され、精神的にも肉体的にも大きな傷を負っています。教育等の機会を奪われた彼・彼女らの社会復帰も非常に大きな課題となっています。

## カンガス神父さまの白寿のお祝い

6月29日(日) 山口サビエル記念聖堂でのミサ後、Kids&Smile の名誉顧問でもあるルイス・カンガス神父さま 99 歳(白寿)のお誕生日お祝い会が、山口サビエル記念聖堂・ダミアンホールで開催されました。



「そろそろですからね～。神様がね、「もうこれまで沢山罪をおかしましたから、これで充分でしょうか? ちょっと天国に行きましょう」と言われまして、もしかすると私はイエス様に『ちょっと、ちょっと、待ってください!』と言うかも知れないよ! 私は、いま自分の天国は山口が天国だと思ってるから、『しばらく

く待ってくださ～い!』』と言うかもしれませんからね」

『感謝・祈り・ありがとう』これだけです!

神様に全部お願いしたい! 愛はここに残る! 神様の愛は悪いこと言うのではなく、全部神様に対するその愛になりますようにさせてください!

皆さまありがとうございます♪

皆さまの言った事もっと聞きたかったけど(耳が遠いので)ピョ～ン(聞こえなかった)

カンガス神父さまから、皆さんがお祝いの会をしてくださった事の感謝の言葉です。

自分の天国は山口天国と仰ったのは、生涯現役の司祭でいたい!! と受け取りました。

これからも、カンガス神父さまの背中を見ていけたら嬉しいな! っと思いました。

来年は百寿! 100 歳を迎えます。

- ・1926 年 6 月 25 日 生まれ
- ・1941 年 イエズス会入会
- ・1951 年 10 月 12 日来日
- ・1958 年 司祭叙階
- ・1966-1982 年 麹町教会 聖イグナチオ教会 助任司祭(16 年)
- ・1982-1998 年 麹町教会 聖イグナチオ教会 主任司祭(16 年)
- ・1998-2007 年 広島祇園教会 主任司祭(9 年)
- ・2007～ 山口カトリック教会 助任司祭(19 年目)



### ■その他のもう一つの顔『役者』

1978 年 NHK 大河ドラマ「黄金の日々」に出演。ルイス・フロイス役(Wikipedia より)

ルイス・フロイス演 - アロイジオ・カンガス  
安土桃山時代に活躍したポルトガル出身のイエズス会宣教師。日本語が堪能で、また筆まめでもあり当時の日本の状況についての詳細な記録を多数残す。主人公たちの人生の要所で深く関わりを持ち、しばしば重要な助言を行う。信長からもその人柄を信用される。演者のカンガス自身もイエズス会に所属する現役の神父である。



### ■その他の顔「世界的なマジシャン」

特にカンボジア、アフリカのカメルーン、コンゴ民主共和国、タンザニアで有名。

## コンサートの報告

### 安らぎと微笑みのコンサート 東ティモールの子どもたちのために

2025 年 5 月 9 日、東京の霊南坂教会で、東ティモール・アタウロ島の子どもたちのためのチャリティーコンサートを開催いたしました。コロナの影響で 5 年間延期されたこのコンサートは、多くの人々の祈りが紡いだ音楽と支援の想いが交差した心温まる特別の一夜となりました。

最初に 99 歳とは思えないお元気なカンガス神父様のリモートでのご挨拶があり、続いてスタッフの小口より東ティモールのアタウロ島の子どもたちの現状と合唱の映像が流れ、会場を深い感動で包み込みました。

塚谷水無子氏による演奏は、前半は「主よ、人の望みの喜びよ」など荘厳で心が洗われるパイプオルガンの音色が響き渡り、その余韻が残る中再びカンガス神父様が登場され、皆様のご支援がアフリカやカンボジア、そして東ティモールの子どもたちに希望の光を届けていることへの感謝の言葉が述べられました。

後半はバッハの名曲やユーモラスな演奏で会場を魅了しました。圧巻は 3 台のトイピアノによる演奏で、愛らしい音色が響きました。カンガス神父様へのバースデーソングなどサプライズの連続で、会場に温かい笑顔が溢れました。最後に代表理事の佐藤より挨拶とアタウロ島の子どもたちの教育支援についてお願いをさせていただきました。



私は、毎日サビエル記念聖堂の対面にある亀山の丘に散歩に行きます。散歩と言ってもただボーっと歩いているのではなく、自然を通して神様と話をします。そんな折にその自然の中に、まさに三位一体を表している樹木を見つけました。

神様の神秘は、三つの多様性と一致（三位一体：父と子と聖霊）です。それぞれの違った愛をもってエネルギーの源となりますが、そこには強くもないゆるやかな緊張があります。その緊張もエネルギーの源になり、殺し合うのではなく、生かします。

イエス様のたとえ話で麦の話がよく出てきます。その麦は、穂の一つひとつが殻と粉になる実からなっています。いっぱい収穫された実は臼に掛けられ粉になりますが、その粉のもとになった実は、たくさんの違った（多様性）穂から収穫された実です。

しかし、どの穂からの実であることはわかりません。また、実そのものはみな形や大きさなどは違っています。その違った物が粉として一つ（一致）になります。粉はやがて私たちが食べるパンとなります。

ぶどう酒も同じです。ぶどう酒を作る時に、一本の木からなったブドウの実を収穫しますが、その実も違った房から獲られ、一房一房、一粒一粒が違ったものです。

その異なった実を足で踏み壊すことによって、美味しいジュースが絞られ、そこからぶどうの新しい姿のお酒が出来上がります。

私たちは神に創られたということより、神様によって生まれたといえるでしょう。従って神的存在を持っ

ています。それは多様性の一致に憧れて生活することが神様を表すことになります。私たちがミサの中でいただくパンとぶどう酒は多様性と一致、愛を頂いていることになります。これは一つの力で、理性に導かれて、完成されることになります。自分の道、自分の仕事、自分の家庭を壊すためではなく一生懸命大切にしながら多様性と一致を懸命に活かすことによって、おいしいパンとおいしいぶどう酒ができるように幸せな人間となります。

今、世界中に起こっている争い（ウクライナとロシア、ハマスとイスラエル、コンゴ民主共和国の M23 による紛争）も多様性を認め合い、一致すれば解決することでしょう。



一般社団法人

**Kids & Smile**

私たちの団体の活動は、皆さまからの会費およびご寄付によって運営されています。

私たちの団体の目的に賛同し一緒にアフリカ・カンボジアの未来を築いていく賛助会員を募集しています。

その他、随時のご寄付については、何時でもお幾らでも感謝のうちに受けたいしております。

支援して下さる全ての方に、年2回発行の会報誌および Newsletter（不定期）などをお送りいたします。

### 会費

賛助会員 1口 2,000 円

団体会員 1口 10,000 円

### ご寄付の方法

#### 【郵便振込の場合】

郵便振替口座 00110 -1-265940

加入者名：Kids & Smile

#### 【銀行振込の場合】

三井住友銀行麹町支店

普通預金口座 店番号 218 口座番号 9415509

〒105-0003

東京都港区西新橋2丁目18-2 新橋 NKKビル7 階

TEL.03-4405-4067

Web サイト [www.kids-and-smile.or.jp/](http://www.kids-and-smile.or.jp/)

E-mail: [info@kids-and-smile.or.jp](mailto:info@kids-and-smile.or.jp)

